

回覧

敷地一丁目自治会
会長 田中 恵子

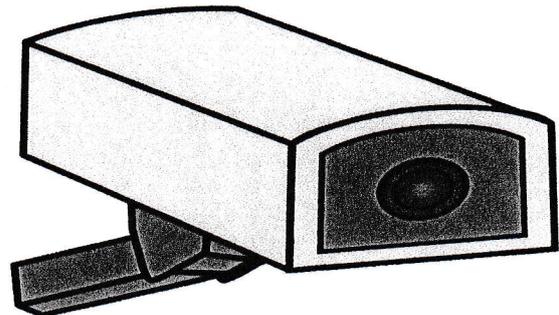
寒さがことのほか身にしみる今日この頃、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、自治会活動にご協力とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨今何かと凶悪な犯罪などのニュースが耳に入るたび、他人事ではないと常々思っておりました。安心安全で暮らしやすい敷地一丁目にするためにどうすればいいか、その一つの方法として【防犯カメラの設置】が検討され、令和6年度役員の総意によって、今年の1/21より咲花公園西側の電柱にカメラが設置されましたことをご報告させていただきます。

宮竹 1.2 丁目自治会様に次いで宮竹学区におきましては2番目に設置できましたこと誠に喜ばしく思います。この防犯カメラが犯罪等の抑止力になって、映像確認に使われる日が来ないことを切に願います。

ただ防犯カメラの設置だけでは、犯罪を防ぐことはできません。犯罪抑止の一番は住民の皆様意識と皆様の『目』です。みんな、安心安全な敷地一丁目にしましょう！！



自治会に関するアンケート

組 氏名

役員名

1. 役員をやって良かったと思う点

2. 役員の仕事の中で一番負担に感じたこと

3. 役員の仕事の中で改善したほうが良いと思う点

4. 体育委員長の仕事が他の専門委員会に比べて重いのではないかという意見があり、組長と同じ報酬にする事についてどう思うか（反対の場合はその理由も）

賛成 反対（理由： ）

5. 自治会の存続のために今後どうすれば良いと思うか

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

*アンケート締切 ： 次回の定例会（2/25）

回覧



ようこそ、
心躍るステージへ

2025 SHIZUOKA MARATHON 静岡マラソン

3.9
sun

高低差が少なく平坦でランナーの負担が軽く、好記録を狙えるコースです！初マラソン完走や自己記録更新など、"RUN & FUN!!"の新天地にあなともぜひ挑戦してください！

マラソンの制限時間を6時間へ

スポーツ庁



スポーツ振興くじ助成事業

交通規制のお知らせ

静岡マラソン実行委員会(静岡市・静岡商工会議所ほか)では2025年3月9日(日)、徳川家康公顕彰プロジェクトの一環として「静岡マラソン2025」を開催します。大会当日は、会場やコース周辺などで交通規制が実施されます。道路利用者の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 国道1号 静岡バイパス 千代田上土IC(上下) 一時閉鎖

【規制区間】国道1号静岡バイパス 千代田上土IC(美区加藤島)
【規制内容】(上下)線 インター 一時閉鎖
【規制日時】2025年3月9日(日) ※概ね7時50分から10時00分まで
注1) 上記の期間・時間以外は通常通り通行できます。
注2) 大会の進捗状況によりインター閉鎖時間は変動する場合があります。
注3) 通行にあたっては「案内看板」やホームページ等をご確認ください。

74 (主)山脇大谷線 (新東名アクセス道路) 交通規制

【規制区間】山脇大谷線 沓谷5丁目南交差点より新静岡IC間
【規制内容】上り線通行止め、下り線1車線通行のため渋滞予想
【規制日時】2025年3月9日(日) ※概ね8時00分から9時55分まで

1 国道1号 丸子新田IC 一時閉鎖

【規制区間】国道1号 丸子新田IC
【規制内容】(上下)線 インター 一時閉鎖
【規制日時】2025年3月9日(日) ※概ね8時55分から11時25分まで
注1) 上記の期間・時間以外は通常通り通行できます。
注2) 大会の進捗状況によりインター閉鎖時間は変動する場合があります。
注3) 通行にあたっては「案内看板」やホームページ等をご確認ください。

山脇大谷線、国道1号静岡バイパスは静岡マラソン2025 開催のため、下記の日程で交通規制を実施します。

道路利用者や沿道の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



お問い合わせ 静岡マラソン実行委員会事務局
平日▶10:00~17:30 3/8大会前日▶10:00~20:00 3/9大会当日▶6:30~16:00
ホームページ <http://www.shizuoka-marathon.com/>

TEL.054-251-3369

交通規制のご案内・迂回ルート検索はこちら



<https://www.shizuoka-marathon.com/2025/traffic>

主催 / 静岡マラソン実行委員会(静岡市・静岡商工会議所・一般財団法人静岡陸上競技協会・公益財団法人静岡市スポーツ協会・静岡朝日テレビ)、静岡市
競技主管 / 静岡県陸上競技協会

home.

Shizuoka Saiseikai Communication Paper

December.2024

Vol.50



特集

今日から始める「糖尿病予防」

- 1 後悔しない「糖尿病予防」糖尿病は怖い？怖くない？
- 3 知っておきたい糖尿病Q&A
- 5 STAFF VOICE
- 6 医療連携医のご紹介 7 当院からのお知らせ



清水港及び周辺は、清水港の立地や駿河湾の自然環境を活かして、海洋に係る研究開発の拠点形成に向けて動き出しています。本シンポジウムでは、これを推進するための課題、市民生活や産業経済にもたらす効果について、みなとまちづくりの観点で考えます。

2025. **2/18** (火) 18:30～20:00

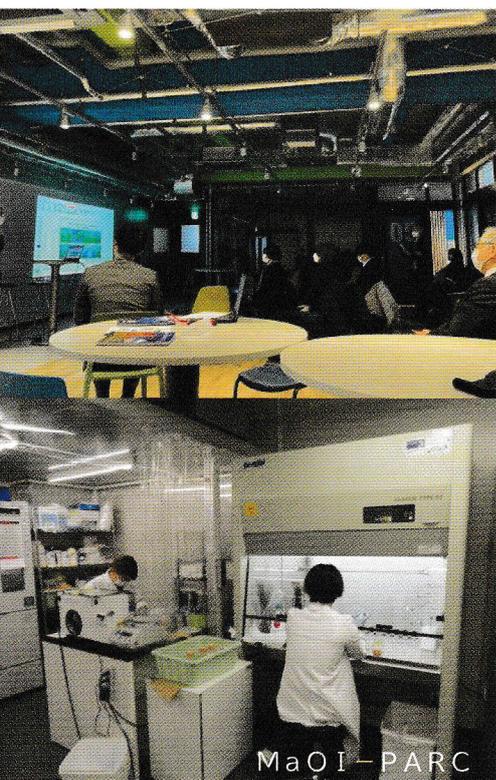


オンライン開催(見逃し配信あり)

参加費無料・事前登録制

事前登録はこちらのURLまたはQRコードからお願いします。シンポジウム終了まで登録できます。

<https://forms.gle/AvvErH9kzNc7mDWp9>



プログラム

報 告「グランドデザインと海洋研究開発」
 基調講演「ブルーエコノミーで拓く静岡の未来
 －駿河湾・海洋DX研究拠点への取り組み」
 質疑応答・パネルディスカッション

シンポジウムは、ZOOMを用いたインターネット配信で開催します。
 視聴にはインターネットに接続できるPCやスマートフォン等が必要です。
 事前登録でいただいた個人情報はシンポジウムに関する連絡以外には使用しません。

主催・問い合わせ先

一般社団法人 清水みなとまちづくり公民連携協議会
 TEL：054-388-9900 HP：<https://shimizuportcity.jp>



基調講演

橋本 正洋 氏



東京工業大学 名誉教授
 法政大学大学院政策創造研究科 教授
 (一財) マリンオープンイノベーション機構
 理事・統括プロデューサー
 駿河湾・海洋DX先端拠点化計画※において事業を推進する事業責任者を務める

※駿河湾・海洋DX先端拠点化計画
 静岡市、静岡県、静岡理工科大学、静岡大学、東海大学、研究機関、企業等が推進体制を構築し、駿河湾・清水港を活かした海洋DX(海に関するデータ、デジタル技術を用いた技術革新・社会変革)の研究開発拠点形成、海洋DXの大学院修士課程の設置等による人材の育成、海洋関連の新産業創出等を一体的に進めていく。
 2024年7月内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」に採択された

みんなの 社協

しずおか



2月号

Feb, 2025

静岡市社会福祉協議会

広報誌 Vol.119

S型デイサービス

広野ももくらぶ

わたしのうちと子どもの居場所

こどもつ家

自分たちの防災意識を高める

まりん防災



WELL-BEING

一人ひとりの価値ある生き方を叶える

発行 社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会

静岡市葵区城内町1番1号

Tel 054-254-5213 Fax 054-252-2420

Mail info@shizuoka-shakyo.or.jp Web <https://www.shizuoka-shakyo.or.jp>



静岡納税だより 第151号

令和7年2月号

編集発行

静岡納税貯蓄組合連合会

会長 片山 健

令和6年度「税に関する作品」入賞者決定

租税教育の一環として、当連合会が毎年実施しております「税に関する作品」の募集につきまして、本年度も小・中学生の皆さんから多数のご応募をいただきました。ご協力をいただきました学校並びに関係機関の皆さまに厚くお礼申し上げます。

たくさんのご応募
ありがとうございました
応募総数
940点(54校)

入賞作品紹介

静岡県教育委員会教育長賞



静岡市立東豊田小学校 6年
梅原 愛理

静岡県知事賞



静岡市立葵小学校 6年
松沼 侑久

全国納税貯蓄組合連合会会長賞

税からうまれる笑顔

静岡大学教育学部附属静岡中学校 3年 齋藤 一翔

僕が、「税」という言葉を聞いた時、身近なようで深く考えてこなかったものと思った。増税、関税、国税、確かによく聞く言葉だらけだが、聞くだけでどのようなものなのかを考えたこともなかった。そこで、自分の身近な税を探してみた。最初に思いついたのは、学校の教科書だった。始業式や入学式でもらう教科書。すべて税金で賄われている。他にも僕はよく塾に行く前にコンビニを利用する。グミやおにぎりやお茶などを買うときに毎回支払っている消費税が一番身近なかもしれない。母と話をした時に、毎月の給料の中から住民税や所得税を納めているけれど買い物一回ごとの消費税は少なくとも一生で考えると一番多く払うことになるのが消費税だと教えてもらった。僕は税金を納めていないものだと思っていたが、毎日のように納めていたことがわかった。

ところで、そんな毎日納めている税金は何に使われていて、誰の為になっているのだろうか。

ある日、僕と母で近所のこども食堂へ行った。そこは以前、英語を教わっていた先生が営むこども食堂だった。中に入るとたくさんの人が利用していた。お父さんが三人の子供を連れて来ていたり、子供たちだけで来ていたり、奥のほうではみんなの為に汗をかきながら料理を作っている人が何人もいた。利用している人は、ひとり親の子たち、共働きで昼だけを食べにくる子もいる。

また、母からは貧困を支えていたり、子供たちの心の居場所としての役割をしたりしていると聞いた。初めて利用したが、確かに地元の人たちの居場所であり、次から次へとたくさんの人が利用していて驚いた。

調べてみると、こども食堂を運営するときに助成金という補助をしてくれるお金とボランティア、フードバンク、直接の食べ物の寄付から成り立っているとわかった。この補助されるお金が税金なのだ。

このように、自分たちが払っていた消費税というのは、知らないところでとても大切な事に使われていることがわかった。

そして、自分たちが食べている食べ物や教科書など身近にあるものは、当たり前ではなく、家に帰れば当たり前のようにある環境も当たり前ではないのだと感じた。

これからは買い物をする時、心のどこかで誰かの役に立っているかもしれないと思う。日常を過ごす中で、日々感謝しながら生活をしていきたいと思った。みんなが少しでも平等に暖かいご飯が食べられるようになり、居場所が増えることを僕は願う。

一回に納めるものはわずかでも、積み重なれば、誰かを笑顔にできるかもしれない。